

# くすのき だより



令和2年1月7日  
来迎寺小学校

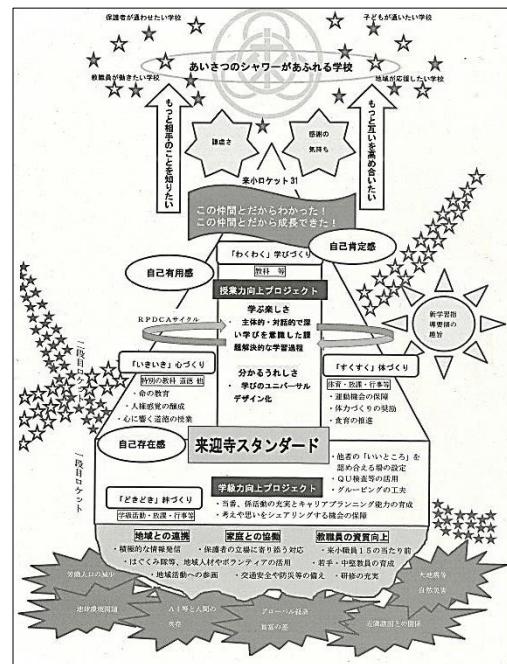
仲間と共に生きるということ～令和2年来迎寺小学校の新たな挑戦～

校長 大橋 直樹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は保護者や地域の皆様から本校の教育活動に対して多大なご理解とご協力をいただきました。心からお礼を申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

長い冬季休業が明け、今日から学校での学習や生活を再開しました。今年度も残すところ3か月となります。この時期は「0学期」という位置づけとなります。今年度の学習をしっかり定着させたり、来年度を見据えて準備したりする期間です。

今年度は、右の来迎寺小学校ランドデザインにあるように、「あいさつのシャワーがあふれる学校」をめざして取り組んできました。素敵なあいさつは『この仲間とだから分かった・成長できた』という学習や生活体験や、謙虚さ・感謝の気持ちに基づくものだと考えています。仲間と共に「分かるうれしさ」「学ぶ楽しさ」を実感できるように、課題解決的な学習過程と学びのユニバーサルデザイン化を柱とする「来迎寺スタンダード」に基づいた授業づくりを心がけています。



【平成31年度 来迎寺小学校ランドデザイン】  
※詳細は来迎寺小学校HPを参照

明治から平成の時代を生きた詩人の安積得也氏には次のような作品（詩）があります。

「光明」  
自分の中には  
自分の知らない自分がある  
みんなの中には  
みんなの知らないみんながある  
みんなえらい  
みんな尊（貴）い  
みんなみんな天の秘蔵っ子

「明日」  
はきだめに  
えんど豆咲き  
泥池から  
蓮の花が育つ  
人皆に  
美しき種子（たね）あり  
明日何が咲くか

上の二つの詩は、すべての人間には「自分の知らない自分」、「何者にも侵されない尊厳」、「優しさや温かさ」「無限の才能や可能性」が存在し、仲間と共に生きる（学ぶ）ということとはそれを発見する過程であることを教えてくれます。

この一年、すべての児童が『この仲間とだから分かった・成長できた』という学習や生活体験を通して、自分自身や、もっている才能や可能性に一つでも多く気づいてほしいと願っています。教職員一同、一人一人の児童を社会の宝として、精一杯応援していきます。

【PTA資源回収のお知らせ】

12月収益金→37,000円 今回は1月22日（水）です。ご協力よろしくお願いいたします。